事例No.	1096
公表年度	R2
団体の属性	町村
団体名	石川県能登町

事例区分	一般行政

タグ	・過疎対策事業債 ・適切な資産管理 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	間伐や路網整備等の取組

事例内容・タイトル

森林管理制度に基づく市町村による間伐の実施

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

石川県　能登町（森林管理制度に基づく市町村による間伐の実施）

- 能登町では、所有者不明、過疎化により手入れ不足の人工林が増加し、土砂災害の発生する危険性が高まっていることから、森林環境譲与税を財源として、間伐を実施するとともに、森林経営管理制度に基づく取組を進め、森林整備を推進する方針。
- 令和元年度においては、14.40haの経営管理集積計画を作成したうち3.16haの間伐を実施し、森林の有する公益的機能の発揮につなげた。令和２年度においては、残る経営管理集積計画作成済である11.24haの間伐や新たな集積計画を作成するため、意向調査を実施する予定。

□ 事業内容

1　森林所有者への意向調査

- 町内の民有人工林14.40ha（20人分）の森林所有者に対し、今後の経営管理を意向調査。
- 意向調査及び申出書による経営管理集積計画（150筆、20人分）を作成。

【事　業　費】2,750千円（全額譲与税）

【実　　績】意向調査面積　14.40ha

2　森林整備（間伐）

- 意向調査及び申出書の提出による経営管理集積計画を作成した14.40haのうち3.16haの間伐を実施。

【事　業　費】1,939千円（全額譲与税）

【実　　績】間伐　3.16ha



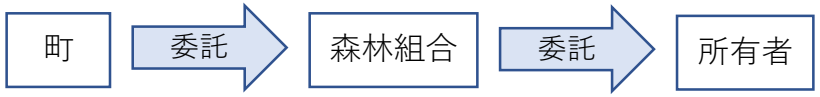
（事業１：現況調査）



（事業２：間伐状況）

□ 事業スキーム

1　森林所有者への意向調査



2　森林整備（間伐）



□ 工夫・留意した点

- 意向調査においては、意向調査対象地区への説明会を実施し森林環譲与税の制度について説明し、森林所有者への周知をした。

◇ 基礎データ

①令和元年度譲与額	11,636千円
②私有林人工林面積（※１）	6,146ha
③林野率（※２）	74.5%
④人口（※３）	17,568人
⑤林業就業者数（※４）	80人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」

※２：「2015農林業センサス」　　※３，４：「H27年国勢調査」